



# 鶴嶺東 スクラム ④

発行責任者：鶴嶺東まちぢから協議会 会長 岩壁 崇

平成30年度 鶴嶺東地区市民集会特集

市民集会から

## 鶴嶺東地区の今を知ろう!



去る8月5日(日)の午後、鶴嶺東コミュニティセンターにおいて、平成30年度鶴嶺東地区市民集会が開催されました。

この市民集会には行政側から服部茅ヶ崎市長をはじめ各部署の責任者16名と地区内住民側として各自治会、青少年育成推進協議会、民児協、地区社協、老人会、子ども会などのまちぢから協議会構成メンバーの皆さんが参加し話し合いが行われました。

冒頭、服部市長から財政状況の説明とごみ処理に関する課題への取り組みについてお話がありました。

一般会計では歳出の24%を扶助費が占め高齢化を反映して歳出が多いということ、そして市債残高がここ数年増えており、その理由が本来ならば、国が地方交付税として「現金」で用意すべきものを国の財政状況が厳しいため、各地方公共団体がそれぞれ借り入れることで不足分を確保しているとの説明がありました。

また、茅ヶ崎市が直面する課題の一つとしてごみ処理に関する次の課題があげられました。

- ①ごみの減量化・資源化
  - ②ごみ処理施設の老朽化、最終処分場の使用終了により焼却灰の市外での処理
  - ③ごみ処理経費の増加
- 引き続き、自治会から要望が述べられ、それに対する説明が担当部署よりありました。



鶴嶺東地区まちぢから協議会会長 岩壁 崇

### 円蔵自治会

Q 新しい家々が立ち並び、多くの子どもたちは遊び場もなく困っている。公園の建設検討をお願いしたい。

A 円蔵地域には3か所の公園があるが、周辺地域の状況を考慮しながら公園整備について検討していく。生産緑地の解除などがあつた際には個別に対応し検討する。また、青少年広場用地の確保に努める。

Q 円蔵地区住民が北茅ヶ崎駅や市立病院へアクセスし易いようにコミュニティバス路線を検討して欲しい。

A 北部循環市立病院線の利便性向上のためにも北茅ヶ崎駅へのアクセスを見直す必要があると考えられており、検討していく。



### 矢畑自治会

**Q** 鳥獣によるごみの散乱被害、無分別等の不正排出による迷惑を減らし、ごみの減量化、資源化、不適正排出を防止する観点から戸別収集に対する方針を問う。

**A** ごみ排出量は減少傾向にあるものの分別が十分に徹底されていない実態と最終処分場の使用期限後に必要となる灰の処分、老朽化に伴うごみ処理施設の整備と処理経費への対応等課題がある。戸別収集は家庭ごみの有料化と同様にごみ減量にもつながる有効な施策であるが、一方で収集車両の増加に伴う経費の増大が見込まれる。県内他市では、家庭ごみの有料化で得られる歳入よりも個別収集に掛かる経費が上回る状況となっており、茅ヶ崎市も同様の状況となる可能性があることから現在調査中である。今年度中を目途に、家庭ごみを有料化した場合に得られる歳入と戸別収集したばあいが必要となる経費の算定を行い、戸別収集の手法や実施の可能性の検証を行い、市民の皆様からのご意見を考慮したうえで、平成31年度中に家庭ごみの有料化と合わせ、方向性を示す予定である。

**Q** 矢畑地域の一部の用水路上は通学路並びに生活道として利用者が多い。経年劣化が進んでいる用水路上や老朽化が激しい生活道の部分舗装について改善してほしい。

**A** 29年度にローソン矢畑店北側の東西道路の道路冠水の改善は車道と水路の段差処理と雨水枘の新設を実施した。30年度は、その続きの西側区間の側溝の嵩上げと道路の傾斜の是正を実施する予定で、隣接地権者と協議を実施している。モンドール湘南前交差点の南北道路の舗装の老朽化については特に損傷の激しい交差点から南に約20メートルの区間は30年度に修繕を実施する。残余の区間については、31年度以降対応できるように調整を図る。現在、大雨時に浸水被害が発生している地域に重点的に予算を配分し、雨水幹線及び河川の整備を推進しており、まずは、これらの地域の浸水軽減を図っていく。矢畑地区においては、今年度も引き続き長善寺北側の水路の嵩上げ工事を実施予定であり、水路上の表面補修は状況を観察しつつ、これら改修工事が完了した後に検討する。



### 西久保自治会

**Q** 仮称「河童徳利広場」の現在の進捗状況と今後の計画を問う。

**A** 県による小出川の護岸工事が進められており、平成30年7月23日に広場予定地に隣接する大曲橋下流左岸の護岸工事が完了した。市としては、護岸工事の完了後に現地測量と地域の皆さんとの合意形成を図りながら詳細設計を進めたい。

**Q** 新湘南道路高架下公園の整備計画を問う。

**A** 浜之郷小学校西側付近の新湘南バイパス高架下は、市で占用し公園として利用していたが、縦貫道路の整備や新湘南バイパスの工事に伴い、高架下を作業ヤードや切り回し道路として使用していたことから公園としての利用を一時見合わせている。市としては、仮称「河童徳利広場」の整備後、以前よりも利用しやすい多目的公園として整備していく計画だが、一定程度の時間を要するのでご協力いただきたい。



**Q** 平成29年度に二か所の狭隘道路の解消をお願いし、幸い一か所は拡幅されたが、残りの二か所について問う。

**A** 高田萩園線の整備区間となっているが、現在、茅ヶ崎市道路整備プログラムの第期整備区間として産業道路より東側四百メートル区間を優先し、用地買収に着手している。懸案の区間の整備については、現状では、整備を優先すべき区間として位置付けることは困難なので、具体的な整備時期を示すことが出来ない。道路を拡幅整備するには、長い期間と多額の費用が必要になるので早期の対応や事業化が困難だ。



### 浜之郷自治会

**Q** 鶴嶺八幡宮前横参道は、通学路になっているが、路面状況が悪く舗装部分と未舗装部分との路面凹凸で雨天には水たまりができて生活道路としても大変危険だ。長年この問題解決をお願いしているが、その進捗状況を問う。

**A** 横参道は、自治会をはじめ関係機関との合意形成を図りながら進める必要がある。また、埋蔵



文化財の包蔵地内であり、道路整備を行う前に発掘調査が必要なことから、この前段階の試掘調査を行うために事前調整をしている。

**Q** 鶴嶺八幡宮縦参道・鶴嶺小学校入り口〜同校南門は、矢畑方面から五百五十二名、ホームタウン方面より百五十六名、合計七百八名の生徒が通学路として利用しており、登校時は、通勤時間帯と重なり車両などの交通量が多く大変危険な状態だ。鶴嶺通りの東側に信号を設置するなど

具体的な提案が欲しい。通学路の検討を問う。



**A** 通学の安全確保については、日々見守りをして下さる地域の皆様のご尽力と保護者や学校のご協力によるところが大きく、大変感謝している。小学校の通学路は学校が指定し、市教育委員会に報告をしているが、具体的な通学児童生徒の提示もあつたので、学校とも検討していく。今後とも登下校等に係る交通安全教育の推進を働きかけていく。

**Q** 鶴嶺小学校東側道路の拡幅は、平成18年度に南側50メートルの区間においてセットバックによる拡幅工事が行われたが、その後の進展を問う。

**A** 北側部分の道路は、既存の電柱や高木などの植栽も数多くあることから拡幅が困難な状況だ。これらの伐採や移設には、学校敷地の権利関係を整理する必要があるが、現在、学区敷地の底地整理をすすめるために関係機関と調整している。底地整理の進捗状況に合わせて、拡幅について検討を進める。

○これらは、昨年も含め以前から挙げられている問題なので、理解に苦しむ。浜之郷自治会は「安全・安心・明るいまち浜之郷」をスローガンとして活動しているとのコメントが自治会長よりあつた。

**下町屋自治会**

**Q** 平成23年度から要望している下町屋〇丁目〇番地の空き家5軒の「空き家対策特別措置法」にもとづく撤去の進捗状況を問う。

**A** 空き家問題は、個人情報保護の観点から、詳しくは説明できないが、「特別措置法」に基づく「茅ヶ崎市空き家対策計画画」及び「茅ヶ崎市特定空き家等



判定基準」に沿って、所有者・管理者に対して面談や電話による適正管理等を働きかけている。

**Q** 小出川と千の川の合流点のすぐ下流にJR鉄橋がある。集中豪雨時、橋桁に流木、落下物などが堆積し、川が氾濫する恐れがあるか、水害危険度の調査・研究を要望する。近年、小出川、千の川流域では、避難勧告や、避難準備・高齢者等避難開始が発令されることがあり、TBS自治会、浜之郷自治会、下町屋自治会を代表して幹事自治会として要望する

**A** 小出川及び千の川の梅田橋から小出川合流地点までの約17キロメートルは、神奈川県が維持管理している。平成29年度は、鳥井戸橋付近から下流へ約百メートルの区間について河道掘削工

事を実施し、今年度も引き続き下流に向けて河道掘削工事を実施する予定と聞いている。また、小出川については、県が平成27年4月に策定した「相模川水系小出川・千の川河川整備計画」に基づき、護岸工事や河道掘削工事、中上流部に洪水調整施設を整備することとしている。当該整備計画に基づき、神奈川県において洪水調整施設の整備候補地の検討がなされ、27年度に行谷地区が整備候補地となった経緯がある。29年度は、県において、大曲橋左岸の護岸整備や、萩園橋下流の河道掘削工事等が実施され

た。30年度は、引き続き大曲下流左岸の護岸整備や萩園橋から西久保橋までの河道掘削工事、洪水調整施設の基本設計や地質調査が進められることとなっている。指摘のJR鉄橋が、ボトルネックになっていることは、県としても十分に認識しており、治水安全度を向上させるための様々な取り組みを行っている。又、30年度中に、想定しうる最大規模降雨による洪水想定区域を公表する予定と聞いている。

○危険度がどのくらいなのか、地域住民に啓発するためにも早急に調査・研究して欲しいとの要望が自治会長よりなされた。

**TBS自治会**

**Q** 富士見橋に隣接するブロック積擁壁の亀裂の恒久的な補修を問う。

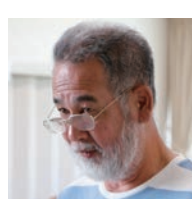
**A** 富士見橋と並行して千の川を横断している水道管の基礎部分と擁壁基礎部分の構造の違いから、沈下量の差により亀裂が生じていると考える。擁壁背面の土砂流出による空洞の発生が無いかの確認、街灯基礎部の亀裂の補修作業は、8月下旬までに行う予定だ。富士見橋の安全性の確認については21年度に



橋梁点検を実施し、24年度には落橋防止のための耐震補強工事を実施している。その後、25年度の道路法改正に伴い5年に回の頻度を基本に定期点検の実施が義務付けられ、28年度に第二回目の点検を実施した。橋全体の状態は、「構造物の機能に支障が生じていない状態」と診断されている。

**ホームタウン茅ヶ崎自治会**

**Q** 自治会館の増改築と設備の導入計画にあたり、自治会館等設置補助金が、現状では諸々の制約があり、使いづらい。弾力的な運用をお願いしたい。



**A** 「自治会館設置等補助金」は、地域の自治の推進に寄与するため、自治会の活動のための建築物の建築及び維持管理並びに自治会館の敷地の用に供する土地の取得に要する経費を補助している。建物の増改築にともなう補助については、ホームタウン茅ヶ崎を所有している方が共同で保有されている個人資産であることから個人資産の形成につながるもので、困難である。

**Q** 6月の大阪での地震により、ブロック塀の崩壊で児童が犠牲者となったが、茅ヶ崎市のブロック塀に対する危険性の認識と対策を問う。

**A** 7月に小中学校通学路のべ二百キロを点検した。目下取りまとめ中だ。ブロック塀は多くが個人所有であるため、八月の広報紙で自己点検を啓発する。また、二百キロ以外の道路は、まちぢから協議会の協力を得て点検する予定だ。

参加者からの質問



服部市長による総括

皆さんとの話し合いを通して、行政の受け止め方と市民の皆さんとの情報共有に、より一層改善に力を入れていくことが大切だと感じた。また、鶴嶺東地区は河川への関心が高い。ハード的な取り組み・整備は大切なので市はもとより県、国へも積極的に働きかけていくが国の河川整備予算は、頭打ちであり、災害などの緊急性のある方へ手当されることも事実だ。そこでハザードマップ等による情報提供を通じて、市民の一人ひとりが起こりうる災害へのタイムラインを積極的に作り、それぞれが安全を確保することにより一層大切だと考える。



豆知識

# 市民集会とは？

- 昭和43年より各地区で「市民と市長の対話集会」が開催される。これは現在の「市民集会」の前身であり、行政主導の方式で開催された。
- しかし自治の原点に戻り、住民自らが考える町づくりを進めるべきとの考えに至り、市民相互の討議の中で、問題と対策を出し合い、市民のやるべきことは市民としての自主性と責任において実行し、行政のやるべきものは行政が取り組むという市民参加による町づくりを進めることを目指すことになった。
- 昭和50年10月「地域づくり」をメインテーマとした「(仮称)第1回100人集会準備会」が開催される。市内の各種団体の代表49人で組織し、スタートした。
- 同年11月の「(仮称)第2回100人集会準備会」では、集会の名称を「地域づくり市民集会」と決定した。
- 市役所の大ホールにて市民を対象とした「地域づくり市民集会」開催。
- 昭和51年度は実践という各論に向かって、「コミュニティ活動への深い意識づくりと、組織づくり」が始まった。そこで市内10中学校区で、地域づくり準備会を重ね、地区の市民団体と横の連携をして、地域づくりについて対話集会を開催することになった。鶴嶺地区(平成7年に鶴嶺東地区と西地区に分かれる)は、昭和51年8月に「第1回地域づくり市民集会」が開催され、現在に至る。

編集後記

編集作業中に、猛烈台風21号が、関西方面に上陸し、関空の冠水や暴風による甚大な災害が発生しました。…と思ったら、今度は北海道での胆振東部地震が発生し、多くの犠牲者と平穏な生活が奪われました。

思わぬ自然災害に備えて、先ずは家族、自分の身を守るために、情報をもとに危険回避のためのタイムラインを作ることが大切だとつくづく思いました。



最新情報はホームページから

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会

トップページで鶴嶺東地区をクリック!